福井東特別支援学校　教育相談だより

# つなぐ

第１０号
令和８年１１月１１日　発行

第１０号では、教育相談での相談事例や、本校高等部の取り組みを紹介します。日々の支援の一助となったり、本校高等部について知ってもらったりする良い機会になればと考えています。

## 相談事例紹介

日々子どもたちと接する中で、「これはどうするといいんだろう」「客観的な意見を聞いてみたい」と思うことはありませんか。そのようなときは、センター的機能を活用し、担当校の教育相談を受けてみるのもひとつの手段かもしれません。今回紹介する事例は、本校に相談があった事例を抜粋したものです。参考にしていただけたら幸いです。

### 事例１：社交不安・不登校傾向のある児童の支援について



小６児童。週１回１時間登校し、担任・保育所等訪問職員と３人で過ごしている。進学を見据えて、学校でできることの相談をしたい。

・カレンダーを用意し、登校した日に印をつけ、視覚的にほめることで、自信や登校刺激に繋げてはどうか。
・クラスの児童の写真をじっと見ていたという様子から、間接的な関わりをもたせて他児との関わりを意識させてみてはどうか。動画を一緒に見る、写真を教室に飾る、手紙を渡すなど。



### 事例２：学級経営について



担任が全員特別支援学級の経験が浅く、児童数も多い。学級が落ち着かず、時間割の組み方もよく分からない。

・児童が『自分で分かって行動できる』ことが大切。個別の時間割や手順等を視覚的に提示すること、流れを統一することなどを意識してみてはどうか。
・国語や算数は帯で設定できるとよいのでは。担任は国・算には必ず入れるよう調整し、サポートの教員に副教科をお願いするなど、学習と教員をセットで固定できるとよい。



## 高等部見学会

今年度より、本校高等部へ進学を希望される生徒対象の見学会の開催時期を６月から７月（夏季休業中）に変更し、授業体験も設定したところ、中１（１名）、中２（７名）、中３（９名）の計１７名の参加がありました。前年度に比べ中２生の見学が多く、早い段階から自分の進路について考える生徒、保護者が増えたという印象をもちました。

１０月実施の令和９年度入学を希望される生徒対象の見学会には、７月に参加した中３生全員と、９月以降に個別見学・相談を行った生徒、計１４名の参加がありました。授業体験の美術ではハロウィンの飾りづくりを、作業では『さつまいものつるを切り取りぴったり１００ｇに挑戦』と『封筒のスタンプ押し』を体験しました。

事後アンケートで進学に向けた不安や要望を尋ねると、「毎日通えるか心配。授業と人間関係が不安。慣れるか心配。」などの内容が複数ありました。保護者アンケートの結果からも、継続した登校ができるのだろうか、集団行動や学習についていけるのかなどの不安な気持ちを書かれた保護者が多かったです。不登校傾向の生徒たちにとって進学というハードルは想像以上に高く、自分が進学することへのイメージがもてず、自分の意思をもって進路決定をしている生徒さんは少ないように思います。そのためにも、本校対象と思われる生徒さんには、早い段階から高等部見学会への参加をうながしていただけたらと思います。また、随時、個別相談・見学にも対応していますので御活用ください。

## SOS講習会



本校には毎月、スクールカウンセラーが来校し、児童生徒、保護者、教員の相談に対応していただいています。また、毎年、高等部の生徒対象にSOS講習会を行っています。今年度は「あなた、と、わたし。～思春期のみなさんに伝えたいこと～」というテーマで、自分と他者が共に心地よく関わるためのしなやかな心の境界線、バウンダリーについて、また、マインドフルネスについてお話いただきました。みなさんも一息ついて心を落ち着けたいときに、「マイントフルネス　鳴き声」で検索していただき、聴こえてくるいろいろな動物の鳴き声に集中することで自律神経を整えてみるのはいかがでしょうか。



## 教育相談のご案内


**福井県立福井東特別支援学校**
**相談支援部**
TEL 0776-53-6575
受付時間　月～金　9:00～17:00


### 電話相談

担当校の特別支援学級や特別支援教育コーディネーターの先生など、気がかりな児童生徒のことについて、どの相談スタイルで相談したらいいのかなど、どうしたらいいかわからないときはお気軽にお電話ください。

### 巡回相談

本校相談支援部教員が園や学校に出向いて学習や活動の様子を見せていただき、先生方と一緒に支援について考えます。個別の教育支援計画、個別の指導計画等の作成について、先生方と一緒に考えます。必要に応じて、保護者の方も交えて支援について考えます。